



## 犬・笑・暮だより vol.63

# 動物愛護週間に寄せて



今月は動物愛護週間があります。私たちも自分の愛犬や家族の関係だけでなく、もう少し広げて、動物の存在と私たち、命のことなどについても考えていきましょう。

今年も9月20日から 26日に、動物愛護週間を迎えます。

この動物愛護週間は、「国民の間に広く動物の愛護と適正な飼養についての理解と関心を深めていただくため」ということで環境省が定め、国や地方自治体、関係団体などが協力して、様々な行事が各地で実施されます。

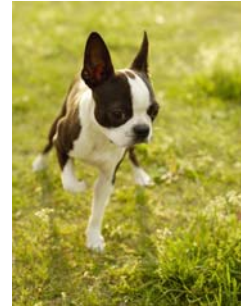
私たちは普段、何気なく愛犬と過ごしているわけですが、犬と暮らす生活って、愛犬にいろいろなもの（フードや寝床、安心など）を与えているつもりでも、実は私たち飼主の方が愛犬からたくさんのもをもらっていることに気が付きます。

たとえば、私たちが「楽しませてくれる」「豊かな気持ちにさせてくれる」「癒してくれる」「仕事が終わった後の家路が楽しみになる」「お休みの日の気候が良さそうだとそれだけでお散歩の時間を思って幸せになれる」「寒い季節は直接温めてくれる」などなど、数えきれません。もちろん、出かけているのに、夕方暗くなってくると「急いで帰らなくっちゃ」と思ったり、雨が降ったら「大丈夫かしら」、雷が鳴ったら「平気かなあ」となどいろいろな心配になっているものですが、それもすべて含めて、私たちが愛犬からもらっているものです。

愛犬に健康で暮らしてほしいと思う気持ちや、いつまでも元気でいてほしいと思う心が、命を大切に思うことや、命の尊さを知ることにつながります。それは、家族や友達を大切にすること、花や木や草、山や川や海などを慈しむこと、日本を大切に、地球を大切にすることにつながっていきます。そうすると、それがまた自然に、自分たちの生活のことだけではなく、近所に住んでいる人の生活をも重んじたり、小さい子どもたちや高齢者の方々への思いやりの気持ちにもつながり、誰もが快適に暮らせるような社会になっていくのではないのでしょうか。

今年の動物愛護週間も、こんな風に考えて、東北の被災地のことや、原発で普通の生活が送れなくなっている人たち、その人たちと生きていた動物たちのことについても改めて考えていきたいものです。

さて、ここまで考えたら、一番身近な自分たちと愛犬との暮らしに戻り、今日も共に過ごせる幸せを胸に、涼しくなった時間を見計



## News & Topic

### 動物愛護週間ポスター

環境省が主催する動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクールが行われています。過去の受賞ポスターです。



平成24年  
最優秀作品  
橋口 玲美さん



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>



携帯サイトはコチラ!!

